

復興・防災 まちづくり事業計画



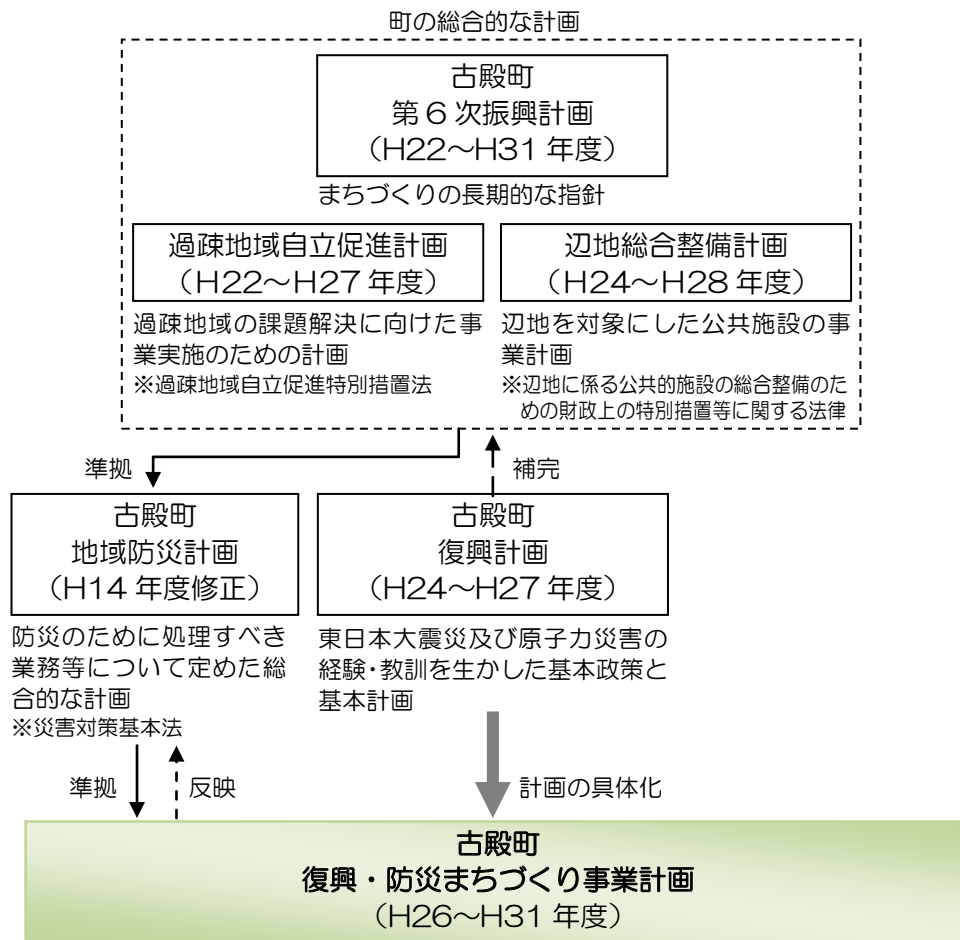
目次

I 現況編	1
1. 被災・復旧等の状況把握	2
2. 町の現状把握	16
3. 上位・関連計画の整理	48
4. 課題の整理	59
II 計画編	67
1. 目標・基本方針	68
2. 計画フレーム	69
3. 施策の各論	70

■計画の目的

- ・古殿町は、東日本大震災の地震により、住宅や公共施設、道路などが大きな被害を受けた。また、平成14年に地域防災計画を修正し防災対策を進めてきたところであるが、震災によりこれまでの防災対策は脆弱で多くの課題があることが明らかになった。
- ・さらに、地震による被害だけでなく、原発事故に伴う近隣市町村の多数の避難住民に対し、適切な誘導や対応が図れない状況に直面した。
- ・こうした課題に対し、災害に強いまちづくりや災害に備えた様々な取り組みを進めることが急務と考えられる。
- ・本計画は、まちの現状把握と今後のまちづくりに向けた課題を把握するとともに、住民意向を踏まえ、震災からの復興、町全体の防災機能の強化や地域の活性化を図るため、今後のまちづくりの指針となる復興・防災まちづくり計画を策定することを目的としている。

■計画の位置づけ



- ・「古殿町復興計画」の実現に向けた具体的な取り組みの指針
 - ・古殿町第6次振興計画との整合を図り、計画期間を平成31年度までとする
- ※印は根拠法